

# 国立公園に関する旅行意識2021

## ～JTBF旅行意識調査トピックス～

2016年3月に政府がとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」の柱の一つとして“国立公園”が位置づけられ、「国立公園満喫プロジェクト」が進められてきました。プロジェクト開始から5年が経過したことを受け、今回は、プロジェクト立ち上げ当時の2016年に実施した調査結果と比較しながら、国立公園に関する旅行意識をとりまとめました。

### 調査概要

調査名 : JTBF旅行意識調査  
調査対象 : 全国18～79歳の男女（調査会社のパネルより抽出）  
調査方法 : 郵送自記式調査  
回答者属性 :

■ 2016年6月調査 調査期間：2016年6月3日～6月27日

年齢（歳）	男性								女性								合計
	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の大きさ（人）	15	115	133	101	100	122	77	663	12	88	119	106	111	129	112	677	1,340
構成比（%）	1.1	8.6	9.9	7.5	7.5	9.1	5.7	49.5	0.9	6.6	8.9	7.9	8.3	9.6	8.4	50.5	100.0

■ 2021年5月調査 調査期間：2021年5月26日～6月16日

年齢（歳）	男性								女性								合計
	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の大きさ（人）	14	108	126	151	113	127	110	749	13	103	105	132	106	149	116	724	1,473
構成比（%）	1.0	7.3	8.6	10.3	7.7	8.6	7.5	50.8	0.9	7.0	7.1	9.0	7.2	10.1	7.9	49.2	100.0

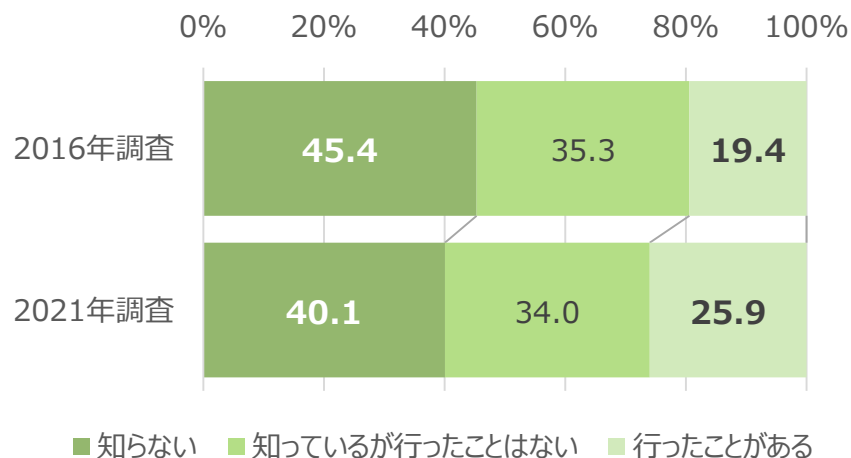
※ 国勢調査時の人口に基づき、住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割り当て。

# 国立公園への旅行 認知率と経験率は**向上**、「是非してみたい」は**増加**

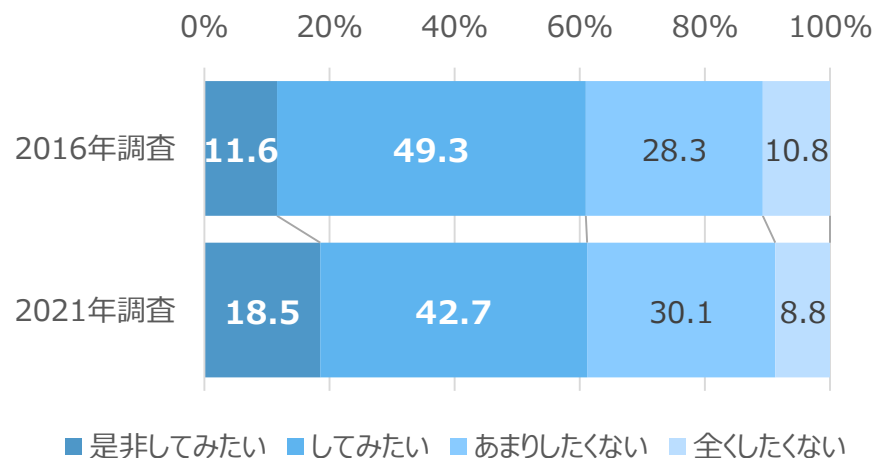
- 「日本の国立公園を訪れる旅行」を知っているか、また行ったことがあるかを尋ねたところ、2016年から2021年にかけて、「知らない」は5.3pt減少、「行ったことがある」は6.5pt増加しました。
- 「日本の国立公園を訪れる旅行」に参加してみたいと思うかを尋ねると、参加意向（是非してみたい+してみたい）は、2016年から2021年にかけて変わらず約6割でしたが、その中でも「是非してみたい」は6.9pt増加しました。
- この6年間で国立公園への旅行の認知率は向上し、経験率も高まりました。また、参加意向のうち「是非してみたい」も増加しました。今後、国立公園内のコンテンツの質の向上や情報発信等により、参加意向がさらに高まることが期待されます。

## 日本の国立公園を訪れる旅行（自然豊かな日本の国立公園を訪れる旅行）

### 認知と経験



### 参加意向

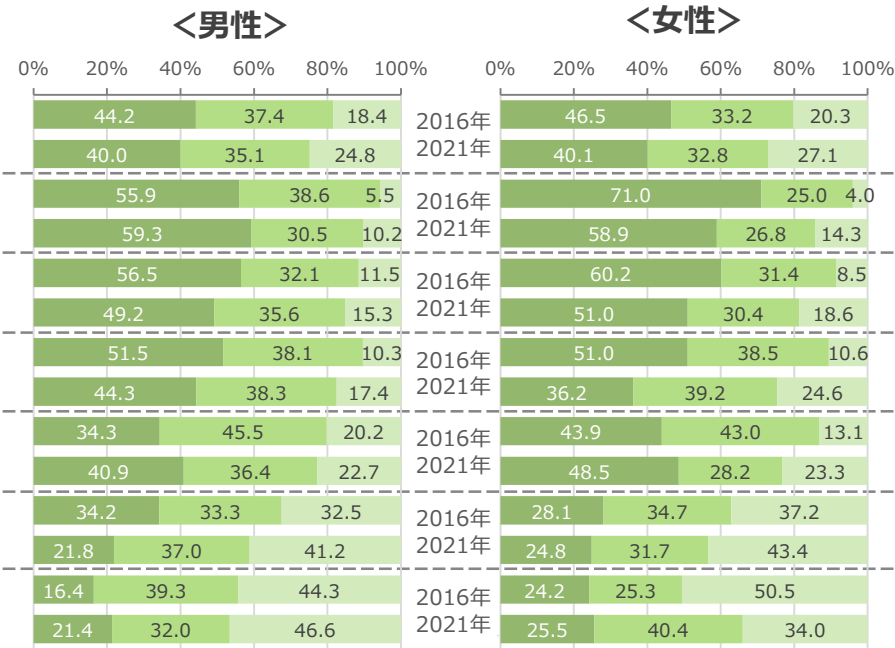


# 認知率、経験率は60代以上が高い・「是非してみたい」は30~40代が高い

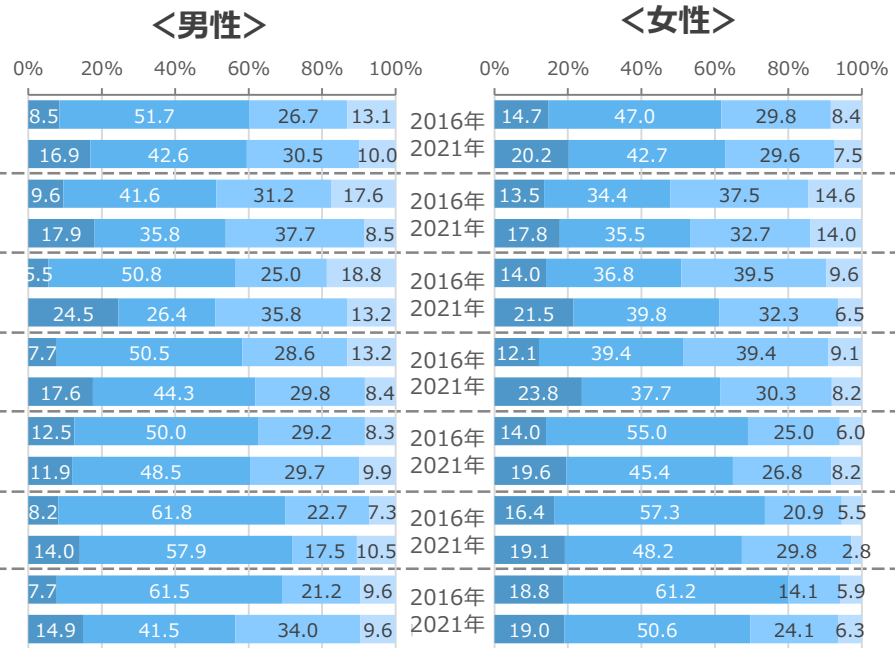
- 「日本の国立公園を訪れる旅行」の認知と経験を性年代別で見ると、男女ともに認知率、経験率が高いのは60代以上でした。2016年と比べると、「行ったことがある」は70代女性を除くすべての性年代で増加し、特に20~50代女性では10pt以上増加しました。
- 「日本の国立公園を訪れる旅行」の参加意向を性年代別で見ると、「是非してみたい」と「してみたい」の合計は男性では60代が高く、女性では年代が上がるほど高い傾向が見られました。2016年と比べると、50代男性を除くすべての性年代で「是非してみたい」が増加し、特に30代男性および40代女性では10pt以上増加しました。

## 日本の国立公園を訪れる旅行（自然豊かな日本の国立公園を訪れる旅行）

### 認知と経験（性年代別）



### 参加意向（性年代別）



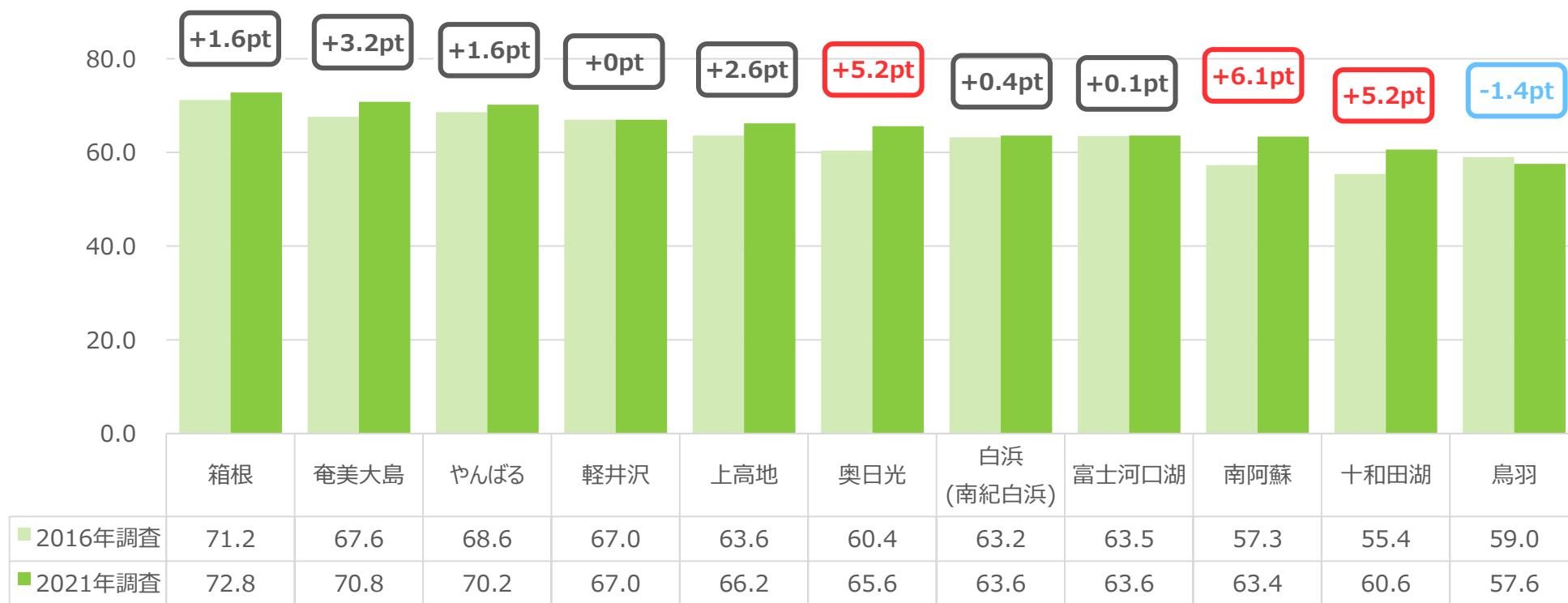
■ 知らない ■ 知っているが行ったことはない ■ 行ったことがある

■ 是非してみたい ■ してみたい ■ あまりしたくない ■ 全くしたくない

# 南阿蘇、奥日光、十和田湖などで訪問意向高まる

- 国立公園エリアを含む11の観光地に行ってみたいかを尋ねたところ、いずれの観光地も訪問意向は5割を超えました。訪問意向が最も高かったのは箱根となり、奄美大島、やんばる、軽井沢、上高地が続きました。
- 2016年と比較すると、ほとんどの観光地で訪問意向が高まり、特に南阿蘇、奥日光、十和田湖では5pt以上高くなりました。

## 国立公園の観光地への訪問意向



JTBF旅行意識調査において、国内25箇所の観光地への訪問意向を「ぜひ行きたい」「行きたい」「あまり行きたくない」「行きたくない」の4段階で回答してもらった。上記はその中から国立公園を含む観光地11を抜粋し、「ぜひ行きたい」と「行きたい」を足した「行きたい（計）」の割合が高い順に並べた結果である。

# 地域の固有性に関するイメージなどが増加

- 国立公園エリアを含む11の観光地に対するイメージを尋ねたところ、いずれの観光地でも「自然や風景」が多く選択されました。しかし、その割合は観光地ごとに異なり、十和田湖では8割、鳥羽では4割弱となりました。
- 2016年と比べると、「他にない見どころ」「独特の雰囲気」「地域ならではの活動や楽しみ」といった地域の固有性、「バラエティに富む」「清潔で美しい」がすべての観光地で増加しました。

## 国立公園の観光地に当てはまるイメージ（複数回答）

	箱根		奄美大島		やんばる		軽井沢		上高地		奥日光		白浜 (南紀白浜)		富士河口湖		南阿蘇		十和田湖		鳥羽	
	2021	増減*	2021	増減*	2021	増減*	2021	増減*	2021	増減*	2021	増減*	2021	増減*	2021	増減*	2021	増減*	2021	増減*	2021	増減*
自然や風景がすばらしい	54.5	↑ 2.1	75.3	↑ 6.1	64.9	↓ -0.7	63.1	↑ 2.6	76.0	↑ 2.1	58.0	↑ 3.5	55.3	↑ 2.0	76.9	↑ 2.8	72.0	↑ 11.5	79.6	↑ 7.4	37.9	↓ -0.5
他にない見どころがある	10.8	↑ 2.4	20.4	↑ 3.6	24.2	↑ 6.0	11.3	↑ 3.0	15.2	↑ 2.7	12.5	↑ 1.9	13.2	↑ 5.1	13.7	↑ 4.2	14.6	↑ 3.7	10.0	↑ 2.2	13.2	↑ 3.3
気候がよく居ごちがよい	8.8	↓ -0.3	13.2	↑ 2.9	12.4	↓ -0.2	30.3	↑ 0.5	22.6	↑ 4.8	6.6	↑ 2.4	12.7	↑ 3.5	10.9	↑ 0.2	7.5	↑ 2.9	6.4	↑ 2.5	6.1	↑ 1.2
いい宿泊施設がある	35.0	↑ 4.2	3.5	↑ 1.2	4.1	→ 0.0	23.3	↑ 5.3	8.4	↓ -1.0	11.1	↑ 2.7	15.3	↑ 1.4	10.3	→ 0.0	11.7	↑ 4.0	5.7	↑ 1.2	10.5	↑ 1.6
独特の雰囲気がある	10.4	↑ 3.5	19.0	↑ 2.8	23.9	↑ 6.1	14.8	↑ 3.4	9.8	↑ 2.3	11.0	↑ 3.3	4.4	↑ 1.2	6.6	↑ 2.8	7.7	↑ 2.1	8.2	↑ 2.4	6.1	↑ 2.7
いい温泉がある	61.5	↑ 0.5	2.2	↑ 0.7	1.1	↑ 0.1	9.6	↑ 0.4	7.4	↑ 0.8	18.0	↑ 1.4	28.4	↓ -1.1	9.6	↓ -0.4	25.7	↑ 3.5	11.1	↑ 1.4	7.1	↑ 1.0
その地域ならではの活動や楽しみがある	7.4	↑ 1.7	14.8	↑ 5.0	16.3	↑ 3.5	10.8	↑ 2.9	9.2	↑ 2.2	5.2	↑ 1.5	9.9	↑ 3.9	8.5	↑ 3.3	6.9	↑ 3.0	3.7	↑ 1.2	9.5	↑ 3.8
おいしい食べ物がある	17.3	↑ 1.4	9.1	↑ 0.8	8.7	↓ -1.2	13.5	↑ 0.5	6.2	↓ -0.3	6.2	↓ -0.1	19.0	↑ 1.4	8.8	↑ 2.1	16.2	↑ 6.3	9.1	↑ 3.2	28.5	↑ 0.5
歴史や文化がすばらしい	13.4	↑ 3.6	11.6	↑ 3.8	13.2	↑ 5.8	6.4	↑ 1.1	3.5	↓ -0.7	39.4	↑ 1.2	3.8	↑ 0.7	3.3	↓ -0.9	5.9	↑ 1.0	2.6	→ 0.0	10.9	↓ -1.5
いろいろな活動や楽しみがある	7.2	↑ 3.5	6.3	↑ 2.2	7.8	↑ 1.9	8.4	↑ 2.0	4.4	↑ 1.9	1.5	↓ -0.8	6.1	↑ 1.3	6.3	↑ 1.6	3.0	↑ 0.9	1.3	↑ 0.6	7.2	↑ 3.1
清潔さや美しさが保たれている	5.5	↑ 0.7	5.0	↑ 1.4	4.8	↑ 1.8	12.1	↑ 0.2	14.3	↑ 4.4	5.8	↑ 2.6	4.7	↑ 2.0	6.1	↑ 1.5	4.6	↑ 2.3	8.7	↑ 3.9	4.5	↑ 1.7
見るものが多くバラエティに富んでいる	10.4	↑ 0.9	5.5	↑ 0.8	7.4	↑ 0.9	7.1	↑ 0.4	3.4	↑ 0.4	6.0	↑ 0.6	5.0	↑ 1.9	5.1	↑ 1.2	3.7	↑ 1.1	1.9	↑ 0.7	7.6	↑ 1.0
祭りや伝統芸能や特産品がある	5.8	↑ 0.7	5.7	↑ 1.4	7.2	→ 0.0	1.5	↓ -0.7	0.9	↓ -0.8	4.9	↓ -1.0	2.4	↑ 0.5	1.1	↓ -0.4	2.5	↑ 0.7	4.2	↑ 2.3	3.6	↓ -0.4
外国人観光客が多い	14.3	↓ -0.5	2.3	↓ -0.1	3.7	↓ -0.6	9.6	↑ 0.6	2.9	↓ -0.2	7.4	↓ -1.8	1.6	→ 0.0	5.9	↓ -0.7	1.7	↑ 0.3	0.8	→ 0.0	2.3	↑ 0.1
街並みがすばらしい	7.6	↑ 3.0	1.6	↓ -0.5	2.1	↑ 0.1	14.2	↑ 0.8	2.1	↑ 0.3	2.7	→ 0.0	2.1	↑ 1.0	1.8	↑ 0.1	1.5	↑ 0.8	0.6	↓ -0.3	1.9	→ 0.0
地域のひととのふれあいがある	1.1	↓ -0.5	9.5	↑ 0.4	10.2	↑ 1.9	2.1	↑ 0.2	1.5	↓ -0.1	0.8	↓ -0.4	2.1	↑ 0.4	0.8	↓ -0.7	2.4	↓ -0.4	1.4	↓ -0.4	2.4	↑ 0.3
にぎやかで楽しい	4.0	↓ -0.1	2.3	↑ 0.1	5.4	↑ 0.7	5.2	→ 0.0	0.3	↓ -0.6	0.9	↑ 0.1	2.9	↑ 1.1	1.1	↓ -0.7	0.7	↓ -0.1	0.4	↑ 0.3	1.4	↓ -0.2
いずれも当てはまらない	1.9	↑ 0.2	2.6	↓ -1.9	4.8	↓ -1.2	3.4	↑ 0.3	4.3	↓ -0.1	2.8	↓ -1.4	6.3	↑ 0.5	2.9	↓ -0.8	5.1	↓ -3.4	3.8	↓ -1.5	10.2	↑ 0.9
無回答	8.4	↓ -2.2	13.9	↓ -3.7	14.8	↓ -3.2	9.5	↓ -3.9	11.8	↓ -2.1	10.0	↓ -3.3	14.0	↓ -2.4	11.4	↓ -0.9	12.2	↓ -4.9	10.1	↓ -4.8	15.8	↓ -3.6

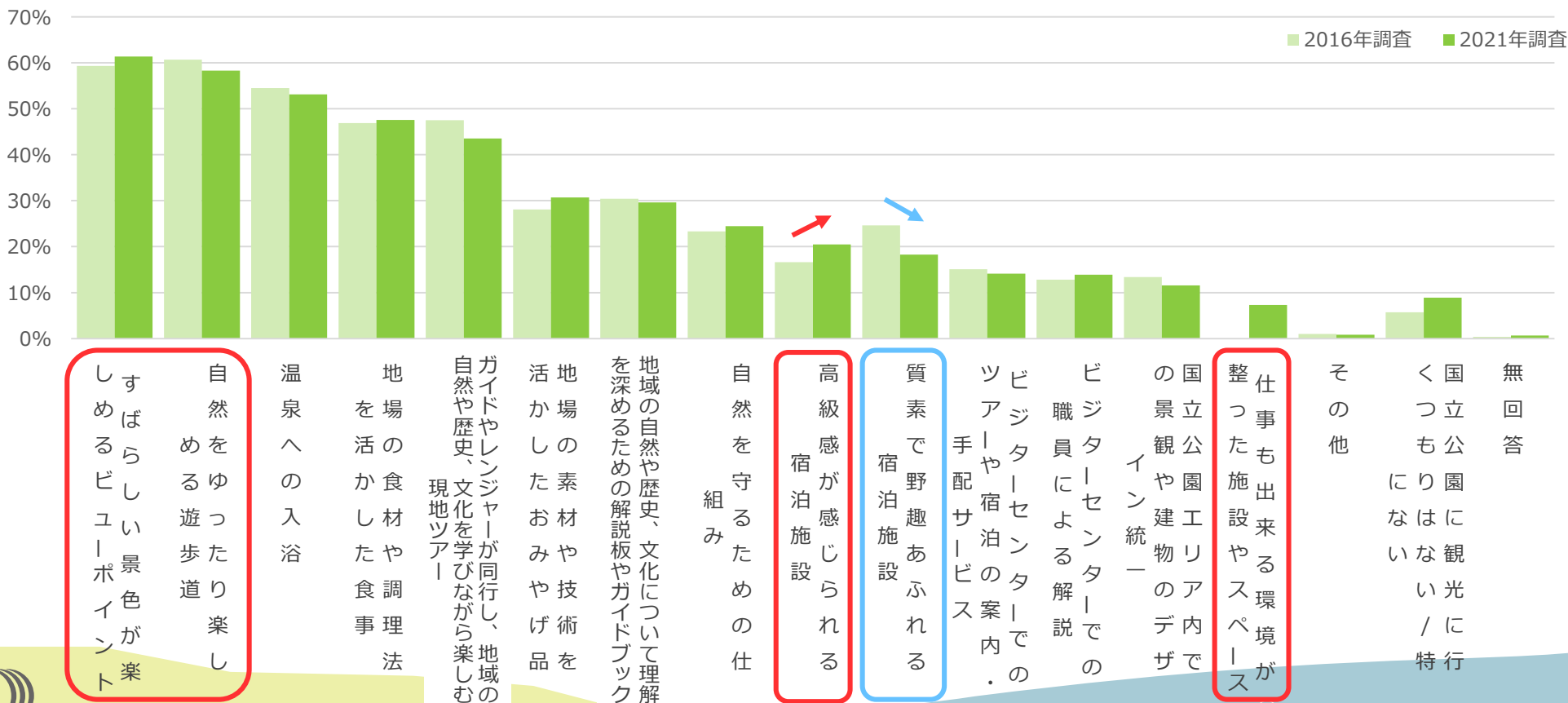
JTBF旅行意識調査において、国内25箇所の観光地についてイメージを尋ねている。上記はその中から国立公園を含む観光地11を抜粋した結果である。

※2016年調査からの増減を示す。

# 国立公園に求めるものは引き続きビューポイントと遊歩道

- 国立公園の観光にあつたら良いものを尋ねたところ、「ビューポイント」「遊歩道」が上位を占めました。景色を楽しむことや歩きながら自然を楽しむことは、国立公園の基本的な楽しみ方と考えられます。
- 2016年と比較すると、宿泊施設に関して「質素・野趣性」よりも「高級感」が求められるようになったことが特徴となっています。
- コロナ禍で注目を集めたワーケーションに関連して、2021年に新たに追加した「仕事も出来る環境が整った施設やスペース」の選択率は1割となりました。

## 国立公園の観光であつたら良いもの、参加・体験したいもの（複数回答）



# 国立公園に関する旅行意識2021

～ JTBF旅行意識調査トピックス ～

**2022年3月14日発行**

**公益財団法人日本交通公社**

**観光文化振興部・観光地域研究部**

安原 有紗 / 五木田 玲子 / 仲 七重

- 本資料は著作物であり著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い引用する際は必ず出所を明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する場合は著作権者の許諾が必要ですので下記お問合せ先までご連絡ください。

公益財団法人日本交通公社 観光文化振興部

電話番号：03-5770-8360

Website：<https://www.jtb.or.jp/>